

《競技上の注意》

1、競技規則

日本バドミントン協会現行規則に準ずる。

2、ポイント数

15点3ゲームマッチ(最高21点まで)

15点の場合、インターバルは、ゲーム間とファイナルのチェンジエンドのみとることがあり

但し、準決勝以上は21点3ゲームマッチ(最高30点まで)

21点の場合、一方のサイドの点数が11点になった時、ゲーム間、ファイナルのチェンジの時、インターバルをとることができる。

それぞれ60秒を超えないこと。

3、シャトル

水鳥検定球

4、審判、線審及び得点板

敗者審判、勝者得点板。

1巡目の試合の選手は、線審と得点板の2名と一緒に集合する。

また、1巡目の試合の主審はシード選手から指定させていただきます。

※ 勝者は、スコアシートの点数を確認してからサインしてください。

※ 敗者は、すみやかにスコアシートを本部へ戻してください。敗者がすぐに戻せない場合は、チーム内の線審や指導者の方などが協力してください。

※ 試合のアドバイス等は、審判が終わってからするなど、進行を妨げないように行ってください。

5、練習

第一試合前に、コートに入ってから3分間、対戦相手と行う。

できる。

グエンド